

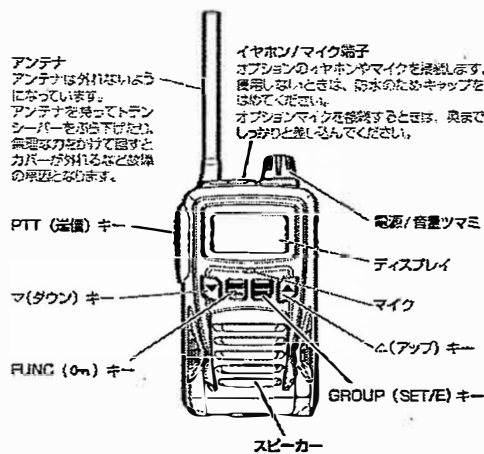
連結スタンド EDC-158R による充電

- EDC-158Rを使用して通信充電する場合、必ず大容量のACアダプターEDC-162が必要で、
- ①ACアダプターがEDC-162であることを確認します。
 - ②スタンドのコネクタどうしを接続します。スタンドは最大4台まで連結できます。
 - ③付属の接続ステーをスタンド底面の溝に合わせてスライドさせます。確実にスタンドどうしが固定されたことを確認してください。
 - ④ACアダプターのコネクタを、各スタンドのコネクタに接続します。
 - ⑤ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
 - ⑥トランシーバーまたはバッテリーパック部品を充電スタンドのポケットに挿入します。充電が開始され赤色ランプが点灯します。最大8台まで同時に充電することができます。
 - ⑦充電が完了すると赤色ランプが消灯します。



各部の名前とはたらき

前面部



ディスプレイ



基本操作

本機の基本となる操作方法を説明します。カスタマイズ方法や拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

交互通話

電源を入れる

電源/音量ツマミを時計方向に回します。



音量を調整する

電源/音量ツマミを時計方向に回すと音量が大きくなります。マキーとムキーを同時に押すと「ザー」というノイズが聞こえ、音量の目安となります。適切な音量に調整してください。

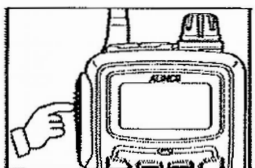
チャンネルを合わせる

マまたはムキーを押して交互通話用チャンネルのL01～09、b01～11を選択します。通話したいトランシーバー全てを同じチャンネルに合わせます。キーを押したままと連続してチャンネルが切り替わります。



受信する

信号を受信していないことを確認してから[PTT]キーを押します。→[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。マイクと口元は約5cm離してください。



コールトーン機能

送信中にマまたはムキーを押すと、呼び出し音が鳴り相手呼び出すことができます。マとムキーでは音色が異なります。

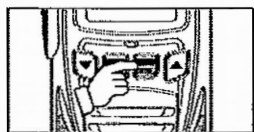
グループトーク機能

同じグループの人とだけ通話したいときは、グループトーク機能を使用します。

ノイズや混雑を軽減する効果があります。

[GROUP] キーを押す

→グループ番号が点灯します。



グループ番号を合わせる

[FUNC] キーを押しながらマまたはムキーを押して自分のグループのトランシーバーを全て同じグループ番号に合わせます。



グループ番号は01～50を選択できます。

送信する

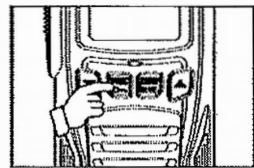
[PTT] キーを押しながらマイクに向かって話します。→同じチャンネル、同じグループ番号の相手とだけ通話できます。

キーロック

キーロックしておくと誤操作を防止できます。

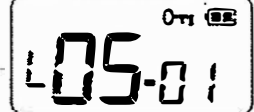
簡易キーロック (Loc1)

[FUNC] キーを約2秒押します。→「Loc1」が点灯したあと「0m」が点灯します。解除するには同じキー操作をします。



通常キーロック (Loc2)

[FUNC] キーと [GROUP] キーを同時に約2秒押します。→「Loc2」が点灯したあと「0m」が点灯します。解除するには同じキー操作をします。



セットモード

各種機能用途やお好みに合わせてカスタマイズすることができます。

セットモードにする

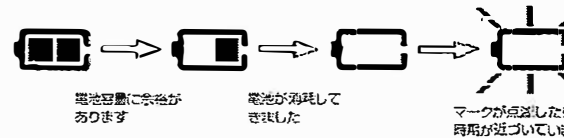
- ①[FUNC]キーを押しながら[SET]キーを押します。→セットモードに入り項目が表示されます。
- ②[SET]キーを押すことに項目が切り替わります。[FUNC]キーを押すと前項目に戻ります。
- ③マまたはムキーを押して設定値を変更します。
- ④[PTT]キーを押して設定を完了します。

※ セットモードについての詳しい内容は、弊社ホームページをご覧ください。
<http://www.alinco.co.jp/> 「電子専業」

セットモード	機能説明	選択項目	初期値
bl-AL	移動受話 (アルカリ/Li-Ion/Ni-MH)	AL/Li/ni	AL
CP-oF	コンパッダー (雑音低減)	OFF/ON	OFF
vo-oF	VOX (音声検知装置)	OFF/Lo/Hi	OFF
SC-oF	秘話	OFF/ON	OFF
bP-Lo	ピー音重 (集音音)	OFF/Lo/Hi	Lo
EP-on	エンドビー (送信終了音)	OFF/ON	ON
bl-oF	ベル (呼び出しお知らせ)	OFF/ON	OFF
LP-5	ランプ	OFF/5秒/ON	5秒
PH-oF	PTT ホールド (送信保持)	OFF/ON	OFF
Pt-on	PTT オンオフ (送信禁止)	OFF/ON	ON
Er-on	イヤホン断線検知	OFF/ON	ON
Ob-oF	コールバック	OFF/ON	OFF
Po-Hi	送信出力 (Hi: 10mW / Lo: 1mW)	Lo/Hi	Hi
EG-oF	緊急送話機能 ([SET/E] 長押しで通話)	OFF/ON	OFF

減電池表示

電池の残量はディスプレイに4段階で表示されます。



「電源が入らない」「ON/OFFを繰り返す」「ディスプレイ表示が消える」「ハウリング」などの症状が出た場合も電池の消耗が考えられます。新しい電池と交換してください。

しばらくご使用にならないときは、必ず電池を取り外してください。

※ 「電池選択 (セットモード) 設定が適正でないとき正しいタイミングで電池交換時期を表示しません。」

リセット

設定状態や操作がわからなくなったときに初期化します。



[FUNC] キーを押しながら電源を入れます。→ディスプレイ全点灯中に [FUNC] キーを離します。→工場出荷状態のL01チャンネルになります。

その他の機能

本書には記載していない拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。
<http://www.alinco.co.jp/> 「電子専業」
内容をよく理解してからこれらの機能をお使いください。

デュアルオペレーションモード

メイン/サブの2つのチャンネルを1秒ごとに交互受信し、そのどちらとも通話することができるモードです。1台のトランシーバーで2台のはたらきをします。

※ 誤ってこれらのモードに切り替わり、ディスプレイにおかしな表示が出たときは電源を入れ直すことで正常な状態に回復することがあります。

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない、表示が消える。	電池の入れ方が間違っている。 電池が消耗している。	電池を正しく入れ直してください。 新しい電池と交換してください。 充電電池を充電してください。
音が出ない、受信しない。	音量が低すぎる。 チャンネルが違う。 グループ番号が違う。	適切な音量に調整してください。 同じチャンネルに合わせてください。 同じグループ番号に合わせてください。
送信できない。	信号を受信していない。 3分の送信制限時間を超過している。	信号がなくなっているから送信するか、チャンネルを変更してください。 PTTキーを離して2秒たってから送信してください。
キー操作できない。	キーロックされている。	キーロックを解除してください。
充電しない	充電端子が汚れている。 充電電池が専用品でない。	充電端子の汚れを拭いた布で拭き取ってください。 専用充電電池 EBP-25NH、EBP-70 を使用してください。

処置を実施しても異常が続くときはリセットしてください。
電池が消耗していると誤動作することがあります。新しい電池と交換してください。

製造中の製品に対する保証年限目に関して

生産終了製品に関しては下記の一定期間補修用部品を常備しています。不測の事態により在庫がなくなる場合もあり、修理ができないこともありまのでご了承ください。補修用部品の保有期間は生産終了後5年です。

オプション一覧

EBP-25NH ニッケル水素バッテリーパック	EME-21A イヤホンマイク (カナル型)
EBP-70 リチウムイオンバッテリーパック	EME-29A イヤホンマイク (耳かけ型)
EDC-109J ツイン充電器セット (EBP-25NH用)	EME-57A イヤホンマイク (カナル型/耳かけ)
EDC-115 シングル充電器セット (EBP-25NH用)	EME-30A イヤホンマイク (ブームマイク)
EDC-158A ツイン充電器セット (EBP-70用)	EME-31A イヤホンマイク (マイクレススピーカー)
EDC-158R ツイン充電スタンド (EBP-70用)	EME-51A イヤホンマイク (耳かけ型)
EDC-162 連結充電用 AC アダプター	EME-52A イヤホンマイク (オープンエア型)
EDC-184A シングル充電器セット (EBP-70用)	EME-53A ヘルメット用ヘッドセット
EME-6 ストラートコードイヤホン (オープンエア型)	EME-34A イヤホンマイク (カナル型)
EME-26 カールコードイヤホン (オープンエア型)	EME-49A イヤホンマイク (オープンエア型)
EME-50 ストラートコードイヤホン (耳かけ型)	EME-39A 簡易イヤホンマイク
EME-21A イヤホンマイク (カナル型)	EME-59 スピーカーマイク (PTTホールド、VOX機能搭載)

チャンネル表示

L01	422.2000MHz	b01	422.0500MHz
L02	422.2125MHz	b02	422.0625MHz
L03	422.2250MHz	b03	422.0750MHz
L04	422.2375MHz	b04	422.0875MHz
L05	422.2500MHz	b05	422.1000MHz
L06	422.2625MHz	b06	422.1125MHz
L07	422.2750MHz	b07	422.1250MHz
L08	422.2875MHz	b08	422.1375MHz
L09	422.3000MHz	b09	422.1500MHz
		b10	422.1625MHz
		b11	422.1750MHz

定格

送信電圧周波数	422.0500MHz ~ 422.1750MHz / 422.2000MHz ~ 422.3000MHz
電圧形式	F3E (FM)
送信出力	10mW / 1mW
受信感度	-14dBμ (12dB SINAD)
音声出力	400mW以上 (本機スピーカー) / 80mW以上 (外部出力)
通話方式	半信
定格電圧	DC4.5V (単三形乾電池3本)
動作温度範囲	-10 ~ +50℃
寸法	幅54.8mm × 高さ94mm × 深さ27.3mm (突起除く) アンテナ上方突起部の全高さ165.4mm
重量	約174g (単三形乾電池3本含む/ベルトクリップ除く)

仕様・定格は予告なく変更する場合があります。本書の説明用イラストは、実物とは形状や形が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。



ネクストギアズ株式会社

東京オフィス 〒121-0064 東京都足立区保木4-25-4
TEL: 03-5831-0185 FAX: 03-5831-0186

大阪オフィス 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-5-19F
TEL: 06-4862-7203 FAX: 06-4862-7204

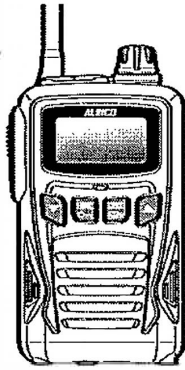
ALINCO

特定小電力ハンディトランシーバー
(総務省技術基準適合品)

DJ-PB20

取扱説明書

本書には基本的な操作方法を記載しています。
拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。



アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品の機能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。アフターサービスなどについても記載していますのでこの取扱説明書は大切に保管してください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。本製品は免許・資格不要の特定小電力無線電話として、各種通信にお使いいただけます。

アルインコ株式会社 電子事業部

東京都千代田区千代田 2丁目3番4号 日本橋トラペジウムビル14階 TEL: 03-3278-5888
 大阪支店 〒541-0049 大阪市中央区東船場4丁目13番9号 TEL: 06-7536-2361
 福岡支店 〒810-0016 福岡市東区東多摩1丁目3番6号 第333号船場ビル7階 TEL: 092-473-4034

アフターサービスに関するお問い合わせは
 お買い上げの販売店または、フリーダイヤル ☎0120-464-007

※このページは、PDFファイルです。印刷はできません。
 ホームページ: <http://www.alinco.co.jp/> | 電子事業部 | お問い合わせ

PS0798
FNE4NE

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前にお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな注意を示しています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示	表示の意味
	危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが生じることが想定される内容を示しています。

図記号	表示の意味
	△記号は、注意（危険・警告含む）を促す内容があることを告げるものです。 △の中には具体的な注意事項が添付されています。
	△記号は、行為の禁止であることを告げるものです。 △の中や近傍に具体的な禁止内容が添付されています。
	※記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 ※の中には具体的な指示内容（左記の場合はACアダプターをコンセントから抜く）が添付されています。

警告・注意

■使用環境・条件

この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が奪われることがあっても、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。
This product is permitted for use in Japan only.

この製品を雨、または他のトランシーバーとともに至近距離で使用してはなりません。お互いの影響により誤動作・不具合の原因となります。

指定以外のオプションや他社のアクセサリ・部品を接続しないでください。故障の原因となります。

自動車の運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。運転者が使用するときは必ず運転を安全な場所に止めておご利用ください。携帯型トランシーバーを運転中に走行中に使用すると道路交通法違反で罰せられます。

トランシーバー本体の取り扱いについて

イヤホンを使用する場合は、あらかじめ音量を下げてください。感度増強の原因となります。

アンテナを折って目などに当たらないようにしてください。

夜間暗く使用にならないときは、安全のため必ず本体の電源をOFFにして、電池を取り出し、充電器をご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜いてください。

マイク部にシールを貼らなれてください。指先で音声が聞こえなくなります。

このトランシーバーは調整済みです。特定小電力トランシーバーをユーザーが改造、変更すると保証が解除されています。サイズ違いのアンテナに交換することはありません。

防護保護には条件があります。水などで濡れやすい場所（風呂場など）では使用しないでください。故障の原因となります。

布や布巾で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となります。直射日光を避けて風通しの良い状態でご利用ください。

水をかけたり、水が入ったりしないよう、また故障に備えてお取り扱いください。故障の原因となります。

近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

イヤホン/マイク/ロホン端子はオプションのイヤホン/マイク/ロホン以外は接続しないでください。故障の原因となります。

衝撃や水分、異物の混入などによる故障の場合は、保証対象外になります。

充電器の取り扱いについて

充電器のACアダプターを、ACコンセントに確実に差し込んでください。ACアダプターの刃に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。

指定以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

充電器のACプラグのコードをクオ定規に押し込んでください。加熱・発火の原因となります。

ぬれた手で充電器のACアダプターに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。

充電器のACアダプターの刃に、ほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや加熱により火災・感電・故障の原因となります。

充電器のACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らずに抜いてください。火災・感電・故障の原因となります。

充電器のACアダプターを熱湯などに近づけないでください。火災・感電・故障の原因となります。

使用前のご注意

■ご使用環境

高温、多湿、直射日光の当たるところ、乾いた多い場所は避けてお使いください。

■分解しないで

特定小電力トランシーバーの改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けると保証がなくなります。

■ご使用禁止場所

本機は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては電波の干渉を受けることがあります。次のような場所では使用しないでください。
(航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院など)

日本国内でのみ使用してください。
This product is permitted for use in Japan only.

■通信距離

通信できる距離は周囲の状況によって大きく異なります。

- ・海上、山頂など条件の良い時：2kmまたはそれ以上
- ・河川など障害物の少ない平地：500m～1km程度
- ・見通しのよい道、郊外の住宅地：500m程度
- ・都市部などの障害物が多い時：200m程度

注意 ローパワー時は、半分以上はなりません。

特定小電力の通信制限について

特定小電力トランシーバーの通信に関する制限事項について説明します。

3分制限（3分以上は連続で送信できません）

10秒前に警告音が鳴ります。通信時間が合計3分になると自動的に送信は停止します。

注意 3分の通信時間制限は自動的に通信が停止した後は、約3秒ほど待たないと次の送信はできません。

キャリアセンス（受信中は送信できません）

一定の強度以上の信号を受信しているときは（PTT）キーを押しても送信できません。受信中に（PTT）キーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。

注意 ビープをOFFにしているとき、アラーム音は鳴りません。

付属品と取りつけ方

付属品をご確認ください

ベルトクリップ 取扱説明書（本書）
 ハンドストラップ 保証書

注意 保証書にご購入の日付が記載されていること、取扱説明書と併せてお読みください。ご購入日が不明な場合は保証書が有効と見做されません。

ベルトクリップの取り付け

ベルトクリップを本機の背面にスライドさせてはめ込みます。取り外すときはロックレバーを押さながら下方へスライドします。

注意 ベルトクリップを破損・紛失した場合はご購入ができません。
販売店へご用命ください。

ハンドストラップの取り付け

本機背面上部にあるストラップ用の通し穴に取り付けます。

電池の入れ方

- カバーを開ける
ロックを外してカバーを開けます。
- 電池を入れる
+/- の表示に従って単三形乾電池3本をセットします。
- カバーを閉める
カバーを閉めロックをかけます。

注意 種類が異なる電池や、新品と古い電池を混ぜて使用しないでください。性能の低い電池はご使用になれません。しばらく使用しないときは電池をトランシーバーから取り外してください。電池を入れたままでも破損する恐れがあります。電池カバーやダイヤルつまみは保護部品としての役割があります。販売店へご用命ください。

充電池および充電器（オプション）

充電電池、充電器および関連するアクセサリは下記のとおりです。

品名	型番	特徴	
ニッケル水素電池	EBP-25NH (250mAh)	リチウムイオン電池	EBP-70 (3.7V / 1000mAh)
充電器セット	EDC-109J (充電器25時間)	充電器セット	EDC-158A (充電器25時間)
充電器セット	EDC-115 (充電器12時間)	充電器セット	EDC-158B (充電器25時間)
		充電器用ACアダプター	EDC-162
		充電器用ACアダプター	EDC-164A (充電器25時間)

注意 充電器は必ず指定の充電器で充電してください。他の充電器で充電すると保証が解除されます。充電器の取扱説明書をお読みください。

ニッケル水素電池 EBP-25NH の充電

①ニッケル水素電池 EBP-25NH を弱性に注意してトランシーバーに装着します。

②ACアダプターのプラグを充電スタンドのジャックに接続します。

③ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。

④トランシーバーを充電スタンドのポケットに挿入します。

⑤充電が完了したら EDC-109J では赤色ランプが点灯し、EDC-115 では赤色ランプが点灯します。

⑥ EDC-109J では充電が完了すると緑色ランプが点灯します。

⑦ EDC-115 では約12時間で充電が完了します。時間が経過したらトランシーバーを充電スタンドから抜いてください。EDC-115の赤色ランプは過熱を示すものであり、トランシーバーを挿入しているときは常に点灯しています。

注意 充電器にトランシーバーを挿入してしばらく充電が完了しないときは、充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。

注意 EDC-109J は保護回路が働いた場合、赤色ランプと緑色ランプが同時に点灯します。この場合バッテリーパックが正しく装着されていることを確認し、充電が正常に行っていない場合は充電電池の寿命が尽きたため交換してください。

注意 ニッケル水素電池を充電するときは充電完了の状態まで充電器をトランシーバーから取り外して保管してください。また3ヶ月に1度は電池を完全に使い切って消費電流をメンテナンスをおこなってください。これを怠ると容量が劣化して充電できなくなることがあります。

リチウムイオンバッテリー EBP-70 の充電

(EDC-158A/EDC-184A)

- ①リチウムイオンバッテリー EBP-70 を弱性に注意してトランシーバーに装着します。
- ②ACアダプターのプラグを充電スタンドのジャックに接続します。
- ③ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
- ④トランシーバーを充電スタンドの、前後いずれかのポケットに挿入します。
- ⑤ EDC-158A は2台同時に充電することもできます。
- ⑥充電が完了したら赤色ランプが点灯します。
- ⑦ EDC-184A では緑色ランプが点灯します。
- ⑧充電が完了すると赤色ランプが消灯します。
- ⑨バッテリーパック単体で充電することもできます。
- ⑩バッテリーパックの弱性に注意して充電スタンドに装着してください。

注意 充電ランプの動作について
バッテリーが満充電になると充電ランプが点滅するようになります。充電ランプが点滅しない場合は、このまま充電を続行しないでください。これは充電ランプが故障しているためであり、故障品と見做されません。

注意 充電器の前方のポケットではランプが点灯するが前方のポケットでは点滅しません。あるいはその逆の動作をする場合があります。しばらくトランシーバーを抜いて充電ランプを点滅させてから充電してください。充電器の動作を確認する際は必ずこのようにしてください。

注意 リチウムイオンバッテリーは定格電圧(500mAh)充電器での充電が推奨されています。特に電池が満充電状態になると数ヶ月で充電できなくなることがあります。定期的に充電して充電器をメンテナンスをおこなってください。

注意 充電器にトランシーバーを挿入してしばらく充電が完了しないときは、充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。